

教 科	科 目 名	単位数	学 年	学科 または コース	履 修
農 業	生物活用	3	2	園芸福祉科	必 修

科 目 の ね ら い	1. 園芸作物の栽培、活用に必要な基礎的・基本的な知識、技術を習得する。 2. 園芸作物を活用したセラピーの特質を理解し、生活の向上や健康の改善を図る能力と態度を育てる。
使用教材など	生物活用（実教出版）

期	月	時 数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4 ～ 7	3 3	1. 園芸作物の種類 2. 園芸の活用と効果 3. 草花の栽培と活用 （マリーG、ジニア、シクラメン等） 4. 野菜・ハーブの栽培と活用 （トウモロコシ、ラベンダー等） 5. 花壇作り	○多くの草花の種類とその原産地を理解し、栽培に活用する。 ○園芸が生活にもたらす効果（癒しうるおい、インテリア等）を理解する。 ○草花の苗作りと繁殖方法を学ぶ。 ○トウモロコシの種まき、栽培管理を学習する。 ○自分たちが育てた草花苗を活用して学校花壇を作る。
二 学 期	8 ～ 1 2	4 2	1. 草花の栽培と活用 （マリーG、ジニア、シクラメン等） 2. 野菜・ハーブの栽培と活用 （トウモロコシ、ラベンダー等） 3. フラワーアレンジメント 4. 花壇作り	○草花の管理技術（施肥、除草、灌水、病害中予防等）を学習する。 ○トウモロコシの栽培管理（収穫、加工）やハーブの種類の理解、ラベンダーを栽培する。 ○学校花壇の管理（除草、追肥等）を行う ○外部講師によるフラワーアレンジメント講習を行い、その知識を習得する。
三 学 期	1 ～ 3	1 8 (9 3)	1. 草花の栽培と活用 （シクラメン、プリムラ、パンジー等） 2. 園芸療法について	○シクラメン、プリムラ、サイネリア等の販売実習を行う。 ○園芸療法に関する基礎的・基本的知識を学習する。 ○園芸療法の体験を行い、技術を習得する

評価項目・学習にあたって・評価点

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・食品製造について関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	・食品製造に関する知識思考を深め、確に判断することができる。	・製造実習において、関連する技術を身に付け、適切に実施することができる。	・食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、理解を深めることができる。
評 価 方 法	・行動の観察 ・ノートの点検	・発表力の評価	・行動の観察 ・ノート及び実習日誌の点検	・行動の観察 ・ノートの点検
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

①定期テスト	1年に4回行われます。普段の授業に集中しましょう。	60点
②実習、実技試験、態度、興味、関心	実習へ積極的に興味・関心をもって取り組み、実技を的確に実施できることが大切です。	20点
③ノート・プリント課題の提出	教室授業及び実習時の記録を正確に行い、期日までに必ず提出しましょう。	10点
④出席	遅刻、欠席をしないようにしましょう。	10点